

令和4年度 横浜市学力・学習状況調査結果について

令和4年4月に実施した、横浜市学力・学習状況調査の結果について、次のようにまとめました。
なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。保護者の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご一読いただければ幸いです。

調査結果の概要

1 教科学習状況調査結果から

全体の正答率としては、国語、社会、算数、理科はいずれも市の平均より下回っている。
学習意識に関しては、学年によっては、平均を上回っているものもある。

〔国語〕

現学年	よい状況と考えられる点	改善を要すると考えられる点
2年	<ul style="list-style-type: none">○促音などの表記や、助詞の使い方などを理解して文章の中で使うことができる。○配当されている漢字を読み、文章の中で使うことができる。	<ul style="list-style-type: none">○事柄の順序を表す言葉を手掛かりに、時間の経過や手順を捉えること。○文章の中での「問い」と「答え」になるような大事な言葉を見つけること。
3年	<ul style="list-style-type: none">○片仮名で書く語の種類を知り、使うことができる。○文章の中の重要な語を考えて選び出せる。○物語の出来事の順序を捉える。	<ul style="list-style-type: none">○配当されている漢字を読み、文章の中で使うこと。○登場人物の会話を基に、内容の大体を捉えたり登場人物の行動の理由を想像したりすること。○説明文中の内容の大体を捉えること。
4年	<ul style="list-style-type: none">○観点を明確にして、二つの情報を比較することができる。○登場人物の行動の理由を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none">○説明文中で、筆者の考えとその事例との関係を捉えること。○元の文章の表現をそのまま生かして、要約すること。
5年	<ul style="list-style-type: none">○観点を明確にして、複数の情報を分類することができる。○自分の言葉を用いて要約することができる。	<ul style="list-style-type: none">○登場人物の気持ちの変化を具体的に想像すること。○気持ちを表す語句を使うこと。○登場人物の気持ちの変化のきっかけを想像すること。
6年	<ul style="list-style-type: none">○思考に関わる語句を使ったり、図示したりすることにより情報を整理することができる。○物語の全体像を具体的に整理することができる。	<ul style="list-style-type: none">○既習の漢字を活用して、書くこと。○文章とグラフを結び付けて、必要な情報を見つけること。○写真や文章などから理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

〔算数〕

現学年	よい状況と考えられる点	改善を要すると考えられる点
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○数のまとまりに着目して、大きさの比較や数え方を考えることができる。 ○物の形に着目して、分類したり特徴を捉えたりすることができる。 ○身の回りの数量を簡単なグラフや表で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数量関係に着目して、式に表すこと。 ○平面の形を手掛かりに、立体図形の構成を理解すること。 ○既習の数の見方や計算の仕方を問題解決に生かすこと。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○加法・減法の計算をすることができる。 ○既習事項を活用して、減法の計算の仕方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○念頭操作を基に、示された大きさを分数で表すこと。 ○基本図形を判別したり、基本図形を確かめるために身の回りの物の特徴を生かしたりすること。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ○立体図形の辺の長さや角度を、適切に測定することができる。 ○割合を表す分数で示された量を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「比較量」をもとに「基準量」と「分数で表された割合」を判断すること。 ○異なる複数の基本図形の構成要素を関連付けて捉えること。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる複数の基本図形の構成要素を関連付けてとらえることができる。 ○数を正しく表現することができる。 ○立体図形の構成要素を関連付けて捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に合う表を判断すること。 ○式が意味する場面を捉えること。 ○数の相対的な大きさを基に、数を表現すること。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の基本図形の性質を関連付けて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異種の二つの量の割合として捉えられる数量を求める式を立てること。 ○整数の性質を日常場面に活用すること。 ○グラフから事象の傾向を読み取ること。

〔社会〕

現学年	よい状況と考えられる点	改善を要すると考えられる点
4年	<ul style="list-style-type: none"> ○消防隊員の消火の工夫について考えることができる。 ○地図記号を正しく読み取り、理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図記号と写真から分かる実際に歩いた順序を関連付けて考えること。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○各都道府県の名義や位置について読み取り、理解することができる。 ○資料を基に、用水工場の様子について読み取り、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地形や土地利用の様子から、町の特徴を考えること。 ○土地の高低や土地利用の様子を地図から正しく読み取り、理解すること。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ○システム導入後の救急隊と病院の医師のやりとりの変化を読み取り、理解することができる。 ○地図上の二つの地点の距離を縮尺を基に求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を基に自然環境を生かした米作りの工夫について考えること。 ○資料をもとに、土地の特徴や用水工事の様子、地域の人々の生活が変化したことを考えること。

〔理科〕

現学年	よい状況と考えられる点	改善を要すると考えられる点
4年	<ul style="list-style-type: none"> ○はかりや容器の扱い方を理解し、体積と重さを関連付けて、正しい調べ方を理解している。 ○遮光板の正しい扱い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽の位置と変化について学んだことを生活に生かすこと。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な動物について、季節ごとに観察して得られた結果を基に、考察することができる。 ○水の入った容器の向きを変えても、重さは変わらないことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○天気によって一日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解すること。 ○電流の大きさを調べるための、簡易検流計を正しく使う方法を理解すること。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ○物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 ○流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○植物の育ち方について追究する中で、植物の成長とそれに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想すること。 ○目的に応じてメスシリンダーや温度計などの器具の使い方を正しく理解すること。

2 生活学習意識調査結果から

学年にもよりますが、全体的にみて、実際に体を動かして学習することが好きだったり、人とのコミュニケーションを楽しんだりする児童が多い傾向があります。また、少しずつですが、粘り強く考える力が付き、友達と自分の意見を比較しながら考えたり尊重したりする意識が高まっています。

今後は、日常生活と学習内容のつながりを意識できるよう、授業改善に取り組み、学ぶ楽しさを感じられるようにすることで、それぞれの教科の必要性を感じたり取り組みへの意識を高めたりできるようにし、学力向上に結び付けていきたいと思えます。

〈学習意識において市平均と比べて比較的よい傾向にある項目〉

- 外国語で、進んで人と話したり話を聞いたりしたいと思っている児童が多い。
- 図画工作や音楽、体育等、技能教科に関心をもっている児童が多い。

〈生活意識において市平均と比べてよい傾向にある項目〉

- 体を動かすことやいろいろな人といっしょに、運動やスポーツを楽しみたいと思う児童が多い。
- あいさつを自分からしている児童が多い。
- うれしそうな人や楽しそうな人が近くにいると、自分もうれしくなったり楽しくなったりすることがある児童が多い。
- 新しいことに挑戦するときは、わくわくする児童が多い。
- 自分の考えたやり方や理由を、ほかの人の考え方も聞いて、見つめ直すようにしている児童が多い。
- はっきりした答えが出るまで、ずっと考えるほうだと思える児童が多い。